

## 第4回定例研究会

### きらめく存在の不思議～美術と物理学と心理学の立場から

第4回定例研究会は、現代美術作家の朝岡あかね氏をお招きし、「きらめく存在の不思議～美術と物理学と心理学の立場から」というテーマで講演いただきました。

#### 講師

朝岡あかね氏（現代美術作家）

#### 指定討論者

身内賢太朗氏（神戸大学大学院理学研究科物理学専攻准教授）

猪股剛氏（帝塚山学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻准教授）

#### コーディネーター

藤井達矢（武庫川女子大学教育学科准教授・生活美学研究所研究員）

#### テーマ

きらめく存在の不思議～美術と物理学と心理学の立場から

#### 講演日

※申し込み不要

2015年1月31日（土）14:00～17:00 受付開始 13:30

#### 場所

武庫川女子大学 学術研究交流館（IR）1階 IR-101

最寄駅：阪神「鳴尾」駅

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください

#### 問い合わせ先

武庫川女子大学生生活美学研究所

TEL：0798-67-1291

FAX：0798-67-1503

## 【講師プロフィール】

ロンドン大学にて美術を専攻後、フランス、グルノーブルのボザールにて修士課程を修了。  
スペイン、フランスを中心に欧州各地や国内のギャラリー、美術館で現代美術作品を発表。  
コミュニティ参加型のアートワークやプラネタリウムでの作品展開なども実施。

文化庁芸術家在外研修員として同時多発テロ直後の北米に滞在。

2004年から2011年まで、東京にてアートスペース RED CUBE を主宰。

現在、堺市在住。



朝岡 あかね 氏



当日の様子

生活美学研究所  
MIE

NEWS LETTER vol.105

**第4回定例研究会**  
(第148回)

2015/1/31(土)

14:00-17:00

生活美学研究所は20世紀の有機体論者ゲーテは「星は人、人も星」です。

「夢を見ているのは私たちではなく、誰かが私たちの夢を見ている」  
土野ハートワルド展 2014 出品作品

生体論には素粒子の軌道、時間と空間が混じり合う世界、石も星もタイムマシン、深い過去から駆け上った記憶の入れもの、巨大な時間の流れの中のココロにある不思議。

「朝岡の展覧、2014」  
西宮船場にてエンター 2014 出品展覧

**きらめく存在の不思議**  
～美術と物理学と心理学の立場から～

19世紀末、ヨーロッパ文化に育ったゲーテは、タヒチで書いた作品に「われわれはどこから来たのか われわれは何者か われわれはどこへ行くのか」と命じた。この永遠の命題を、現代物理学の発展とコングニティブ心理学の立場から考察し、心と物質が交差する小宇宙、そして時間と空間の中にある私たちの存在について思いを話していきたい。

朝岡の暮らしに寄り添う光をついて書いた星屋のプラネタリウム、2014年の夏の終わりの展覧会への応答です。